

「京北ふるさとまつり」・「向日市まつり」に出展しました！

11月3日（木）文化の日に、京都市右京区京北周山町（ダムの水源地域）にある京北合同庁舎周辺で開催された「**京北ふるさとまつり**」及び11月19日（土）・20日（日）に向日市（ダムの利水地域）にある向日町競輪場で開催された「**向日市まつり**」に出展し、**日吉ダムの役割などを説明したパネルの展示**を行うとともに、ダムに流れ込んできた流木やダム周辺で発生した刈草をリサイクルして作った**堆肥（日吉ダムの恵み堆肥）の配布**を行いました。

（京北ふるさとまつりの様子）



「京北ふるさとまつり」は、穏やかな小春日和に恵まれ、日吉ダム展示ブースにも多くの皆様に訪れていただき、ダムの役割や働き、流木等のリサイクルなどを知っていただきました。

「日吉ダムの恵み堆肥」の配布も好評で、用意した150袋は13時過ぎには配布を終了しました。

（向日市まつりの様子）



「向日市まつり」は、初日はあいにくの大雨でしたが、それでも多くの皆様に訪れていただき、2日目は初日とはうってかわって晴天となり、より多くの皆様に訪れていただき、向日市の水道用水の水源地である日吉ダムの役割などを知っていただきました。

「日吉ダムの恵み堆肥」の配布は、初日は雨の影響で予定数の8割の配布になりましたが、2日目は初日の残りを合わせた180袋が、13時過ぎには配布を終了するほどの好評でした。

両まつりとも、日吉ダム展示ブースに多くの皆様に訪れていただき、ありがとうございました。

この他、「来て見て体験 in 村野浄水場（大阪広域水道企業団）」などでも、日吉ダムのパネル展示を行いました。